

幸田町少年少女発明クラブ 設立10周年



少年少女発明クラブとは？

少年少女発明クラブは、次代を担う子どもたちに科学技術への興味関心を持ってもらったり、創作活動を通して発明工夫の楽しさを感じてもらったりすることで、豊かな創造性を育むことを目的として活動しています。設立からの10年間を振り返り活動内容などを紹介します。

平成25年
全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
銀賞 チームMKN「来年幸田町合併
60周年彦左衛門大喜び」



平成24年

発足式



卒業クラブ員からの声



少年少女発明クラブで学んだこと、できるようになったこと

- ・ 考えて作る楽しさを知ることができた。
- ・ 物を作ることを通じて興味、夢が明確になった。
- ・ 当時は分からなかった作った物の原理も、その後の学校の授業で理解できるようになった。
- ・ 物が壊れた時に、すぐに諦めたり誰かに頼ったりするのではなく、なぜ動かないのかを考え、自分で挑戦するようになった。

そのほか、ご意見ご要望など

- ・ 今後も少年少女発明クラブを多くの人に体験してもらい、発想力豊かな子どもたちが増えることを願っている。





指導員から

専任指導員

まえざわ なおき

前沢 直樹さん

少年少女発明クラブはこの10年、クラブ員や卒業生、地域や企業の人のものづくりやチャレンジ精神に支えられ、定例講座だけでなく、全国少年少女チャレンジ創造コンテストやあいち少年少女創意くふう展にも挑戦し実績を残してきました。ただ工作するだけでなく、精密にきれいに仕上げることや、自分で考えてやってみること、学校では習わないちよつと難しいことにも取り組んできました。この経験は将来きつと役立つと思います。皆さんにはこれからのいろいろなことに目を向けて挑戦してほしいですね。



クラブ員から

深溝小学校 6年生

はちがや ももか

蜂谷 百花さん

私は工作が好きで4年生の時に少年少女発明クラブに入会しました。学校の授業ではなかなか経験することができない電子工作では、慣れないはんだごての作業が難しくて上手くいかないこともあります。でも、その度にたくさん課題が出てきて、「次はどうやって作るのかな」と考えさせられます。少年少女発明クラブでは、たくさんの方の不思議を発見できたり多くのことを学べたりするので、学校の授業や毎日の生活を楽しく過ごすことができています。

未来へつなげるものづくりの魂

これまでの10年間で、200人近い子どもたちが、ものづくりのまち幸田の将来を担う頼もしい存在になってくれました。今後、活動を発展させ、町のものづくり育成の基盤となるよう励んでいきます。

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 銀賞 ウリ坊ズ「自然×技術＝夢の未来」



世界青少年発明工夫展2017

「幸田町少年少女発明クラブ10周年記念誌」を発行

町ホームページで公開していますので、ぜひチェックしてみてください。町ホームページはこちら⇒⇒⇒



令和4年

令和元年

平成30年

平成29年

全日本学生児童発明くふう展 いちむらゆうき
入選 中央小5年生 市村友輝さん
「パカッとふくろオープナー」



全日本学生児童発明くふう展 いちむらひより
入選 中央小6年生 市村日和さん
「えんぴつころりんげずり」



クラブ員募集!

町内の小学4年生から6年生を対象にクラブ員を募集しています。詳細は毎年春に各小学校へ配布している募集チラシをご覧ください。

指導員募集!

子どもたちに工作や科学を教えていただける指導員を随時募集しています。現在20人の指導員が在籍しています。現役、OB、性別は問いません。ご興味のある人は、ぜひご応募ください。

問合せ

幸田町少年少女発明クラブ事務局(企業立地課内)
☎(0564) 62・1111
(内線 342)
FAX(0564) 63・5139

